

「Green UNDER GROUND」駒沢大学駅の新しい駅構内トイレが、グッドトイレ選奨『奨励奨』を受賞！

当社は、田園都市線地下区間5駅(池尻大橋駅～用賀駅)のリニューアルプロジェクト「Green UNDER GROUND」第1弾である駒沢大学駅リニューアル工事において、2022年7月に供用を開始した新しい駅構内トイレが、一般社団法人日本トイレ協会によるグッドトイレ選奨の社会的活動部門で「奨励奨」を受賞したことをお知らせします。

グッドトイレ選奨は、一般社団法人日本トイレ協会が、「みんながいつでもどこでも気持ちよくトイレが使える」環境をつくり、それを持続できる社会をつくることを目標に、顕著な活動の実践や、提案を行っている主体を顕彰するものです。トイレの環境づくりの模範になる作品が推奨されています。

駒沢大学駅の新しい駅構内トイレは、「まちとつながる新しい駅トイレ」を目指しています。「みんながいつでも気持ちよく使える」「持続できる社会に貢献する」ことを目標に、駅トイレとしての機能拡充だけでなく、落ち着くことができ、親しみをもっていただけるような空間のデザインを取り入れたほか、旧玉川線の敷石として保管されていた廃材を利用するなど、脱炭素・循環型社会の実現に向けた取り組みを実施しています。また、「持続可能な社会に対する関心を持っていただくきっかけづくりとして、HP等を通じてこのような取り組みを積極的に発信していきます。これらの取り組みが評価され、今般、社会的活動部門にて「奨励奨」を受賞しました。

なお、駒沢大学駅リニューアル工事は、2024年夏(予定)の竣工に向け「UNDER THE PARK」をコンセプトとし、地域の憩いの場である都立駒沢オリンピック公園の最寄り駅として、公園とともにあるライフスタイルをイメージするデザインを取り入れた空間の創出を目指します。駒沢大学駅を1本の木に見立てており、新しい駅構内トイレは、天井の配管やダクトを地上の木から伸びた根としてイメージしたデザインにしています。

両社は今後も気持ちの良い利用環境の提供を目指すとともに、脱炭素・循環型社会の実現に向けた施策に取り組むことで、社会に寄添い・貢献するまちづくりを推進していきます。

詳細は、別紙の通りです。



▲多機能トイレ



▲旧玉川線の廃材として保管されていた敷石を活用



▲男性トイレ



▲女性トイレ

【別紙】

1. 駒沢大学駅リニューアル工事 計画概要

- 事業主体 東急電鉄株式会社、東急株式会社
- 建物名称 田園都市線駒沢大学駅・
(仮称)駒沢大学駅東口ビル・
(仮称)駒沢大学駅西口ビル(1)・
(仮称)駒沢大学駅西口ビル(2)
- 所在地 東京都世田谷区上馬4-3 ほか
- 工事内容 駅設備・内外装・旅客トイレの改修、
エレベーター、店舗新設 など
- 設計・デザイン 東急電鉄一級建築士事務所
株式会社交建設計・UDS株式会社
- コミショニング NPO法人 建築設備コミショニング協会
- 着工 2021年7月30日(金)
- 竣工 2024年夏(予定)



▲駒沢大学駅リニューアルイメージ(コンコース)



▲位置図

2. 駒沢大学駅リニューアル工事 設計者

「交建設計」

(<https://www.koken-archi.co.jp/>)

「鉄道駅」を中心とした『交通施設』の設計・計画を中心に「公共施設・商業施設・教育施設」や、国内のみならず多くの海外鉄道プロジェクトにも参画しています。



▲東急池上線五反田駅高架下店舗



▲カイロ地下鉄4号線

「UDS株式会社」

(<https://www.uds-net.co.jp/>)

事業性と社会性を実現するしくみ＝「システム」で都市を豊かにすることを目指し、国内外でまちづくりにつながる場の企画、設計、施設運営を手がけています。



▲SHIMOKITA COLLEGE



▲Tote 駒沢公園

3. コミショニング「NPO法人 建築設備コミショニング協会」(<http://www.bsca.or.jp/>)

2004年に設立。建築設備の品質、省エネルギー性、環境保全性の向上を目指し、コミショニングに関する技術者育成、調査研究や教育・普及活動、ならびにコミショニング事業を通して社会貢献活動を行っています。



▲京都駅ビル



▲長崎県庁

4. 「一般社団法人日本トイレ協会」概要

一般社団法人日本トイレ協会は、トイレ文化の創出と快適なトイレ環境の創造、トイレに関する社会的課題の改善に寄与することを目的に活動しています。

5. 「グッドトイレ選奨」概要

「みんながいつでもどこでも気持ちよくトイレが使える」環境をつくり、それを持続できる社会をつくることを目標に、顕著な活動の実践や、提案を行っている方を顕彰するものです。トイレの環境づくりの模範になる作品を推奨しています。グッドトイレ選奨は、2009年度に始まり、今年で14回を迎えます。

<参考>

■田園都市線地下区間5駅リニューアルについて

1. 田園都市線地下区間5駅概要

駒沢大学駅を含む田園都市線地下区間の5駅(池尻大橋駅・三軒茶屋駅・駒沢大学駅・桜新町駅・用賀駅)は、当社初の地下鉄である「新玉川線」として1977年に開業しました。新玉川線は、ステンレス車両や、各駅で異なるステーションカラーの導入、駅冷房等を考慮した駅づくりなど、当時としては先進的な地下鉄でした。



▲新玉川線開通式(1977年)



▲ステーションカラーの導入



▲田園都市線地下区間5駅リニューアル対象駅

2. 田園都市線地下区間5駅リニューアルコンセプト「Green UNDER GROUND」

田園都市線の路線カラーでもある「Green」には、「快適・安心」、「スムーズ」、「クリーン・サステナブル」、「親しみが生まれる」、「新しさがある」など、さまざまな想いが込められています。開業後40年以上が経過した田園都市線の地下区間5駅を、今まで以上に心地良く、ワクワクする体験のできる空間に生まれ変わらせます。

取り組みの詳細は、今後オフィシャルサイトを活用し、お知らせします。

2021年7月30日リリース：https://www.tokyu.co.jp/company/news/list/Pid=post_347.html



▲オフィシャルサイトロゴ(予定)

■東急株式会社、東急電鉄株式会社の脱炭素・循環型社会の実現に向けた主な取り組み

- ・環境ビジョン2030(リリース) <https://www.tokyu.co.jp/company/news/list/Pid=20220328-1.html>
- ・日本初、鉄軌道全路線を再生可能エネルギー由来の電力100%にて運行～日々の東急線利用がカーボンニュートラルの実現につながります！～(リリース)
<https://www.tokyu.co.jp/company/news/list/Pid=20220328-2.html>
- ・全国初の耐火・構造技術を導入した木造駅ビル「(仮称)駒沢大学駅西口ビル(2)」が国土交通省「令和4年度サステナブル建築物等先導事業(木造先導型)」に採択されました
https://www.tokyu.co.jp/information/list/Pid=post_649.html
- ・南町田グランベリーパーク「第40回緑の都市賞」受賞
<https://www.tokyu.co.jp/image/news/pdf/20201023-2-1.pdf>
- ・南町田グランベリーパーク「LEED NC(新築部門)」「LEED ND(まちづくり部門)」ゴールド認証取得
<https://www.tokyu.co.jp/image/news/pdf/20200820-1.pdf>
- ・二子玉川ライズ「第25回地球環境大賞」受賞 <https://www.tokyu.co.jp/file/160229-3.pdf>
- ・えきもく、木になるリニューアル：<https://ii.tokyu.co.jp/withheart>
(「ウイズ・ハート ココロでまちをサステナブルに。」HP)



ココロでまちを、
サステナブルに。

以 上